

氏名	江良 裕子	部署	口腔保健科学専攻	職名	助教
研究分野	歯科理工学、口腔保健学				
学位	博士（歯学）				
学歴	1992年北海道立衛生学院 歯科衛生学科、2008年放送大学教養学部 生活と福祉専攻 2020年北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野・講座 生体材料工学教室（博士課程）				
経歴	1992年～2004年 歯科診療所勤務 歯科衛生士、2004年～2006年居宅介護支援事業所勤務 ケアマネージャー 2006年～2018年 北海道歯科衛生士専門学校勤務 教務主任、2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会（役職）	歯科衛生教育学会、歯科衛生学会、歯科理工学会、SPU学会（会計、運営委員）、北海道歯学会、代用臓器・再生医学研究会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	“Size- and morphology- controlled preparation of surface-modified water-dispersible fullerene nanoparticles for bioapplications”	共著	あり	○	J. Nanoscience and Nanotechnology, 20(5), P.2668-2674	H. Oguma, E. Seitoku, M. Mutoh, S. Yoshizawa, K. Nakanishi, Y. Bando, Y. Era, T. Kiba, P. Saikaew, M. Tamai, T. Akasaka, M. Nakamura, T. Kusaka, Y. Yoshida, Y. Sato, H. Sano, S. Abe*, .A. Valanezhad, I. Watanabe, S. Inoue, and T. Takada	2020.5
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			赤外照射による外部刺激応答性を持つ低侵襲インテリジェントDDSの開発	研究分担者	2019.4～2022.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			抗炎症薬と殺菌薬とを徐放するナノ多孔質シリカ含有新規ハイブリッド歯科用軟膏の創製	研究代表者	2020.4～2023.3	
3	西山デンタルアカデミー			薬剤の追加充填を可能とする薬剤徐放能を持つ抗菌性歯科修復材料の開発	研究分担者	2021.4～2022.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	口腔保健科学概論		1	歯科衛生法に基づいた歯科衛生業務について、入学直後の学生が理解できるように、事例を挙げてオンライン講義を行った。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	矯正歯科学		15	学内担当として、非常勤講師の講義や試験の準備を行った。			

2	歯科材料学		15	学内担当として、授業の準備やサポートを行い、授業がスムーズに進むよう努めた。
3	歯周病予防処置論Ⅰ		4	感染症予防対策を講じて、安全に対面にて実習できるよう配慮した。
4	歯周病予防処置論Ⅱ		11	webclassを活用し、学生がいつでも見て学ぶことができるよう工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習（代替授業）		18	多職種連携の導入として、初めてオンライン上で対面した学生同士が活発に意見交換できるようサポートを行った。
2	歯周病予防処置法Ⅲ		9	学生同士が積極的にコミュニケーションを取り合い、学習を深めることができるようサポートを行った。
3	齶蝕予防処置論		10	オンライン授業と対面実習を融合させ、より効率的な実習ができるよう支援した。
4	チーム歯科医療学Ⅰ		16	感染症対策を講じて、学生が知識・技術・態度を身に付けられるよう実習を行った。
5	チーム歯科医療学Ⅱ		8	感染症対策を講じて、学生が知識・技術・態度を身に付けられるよう実習を行った。
6	チーム歯科医療学Ⅲ		22	臨床実習が始まる前の実践的な実習のため、学生達に根拠を考えてもらうよう工夫した。
7	臨地・臨床実習Ⅰ		2020.10.7～ 2021.2.11	実習オリエンテーション、カンファレンスを行った。
8	臨地・臨床実習Ⅱ		2020.12.4～ 2021.3.31	実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
9	臨地・臨床実習Ⅳ（代替実習）		76	オンライン授業と対面実習を融合させ、実習では学生が主体的に実習に取り組めるよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	第4学年担任		学生が自主的に行動できるよう配慮した。	
2	学生アドバイザー		質問しやすいような雰囲気作りに配慮した。 特に1年生は一度も登校しておらず、上級生から大学生活について1年生がイメージしやすいように話してもらった。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	SPU学会	会計委員		2019.4～2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				

	項目	内容	期間
1	学生支援	4年次担任	2020.4-2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			